

第26回 九州児童福祉施設運営研究協議会 開催される

1月20日(木)～21日(金)に熊本ホテルキャッスルで、第26回九州児童福祉施設運営研究協議会が開催され、九州各県の児童福祉施設から約110名の参加がありました。

一日目はまず中央情勢報告として、全国養護施設協議会 中田浩 会長より「平成23年度 児童福祉行政の展望について～地方分権と児童福祉施設～」というテーマで話がありました。引き続き特別講演として、熊本大学大学院生命科学研究部小児発達社会学 友田明美准教授より「脳を守り、育む～児童虐待と傷ついていく脳～」と題し、虐待を受け、心と体が傷ついた子どもたちの「脳」の回復の可能性について、講演がありました。



【講演中の友田准教授】

二日目は記念講演として、元横井小楠記念館四時軒館長で熊本県文化財保護指導委員の菅秀隆氏より、「横井小楠に親しむ — 勝海舟・坂本龍馬らとの交流を通して — 」という演題で話がありました。勝海舟や坂本龍馬に「先生」と慕われた横井小楠の活躍について、当時の時代背景や人々の生活などの説明も織り交ぜながらの菅氏の話に、参加者は熱心に聞き入っていました。

平成23年度 社会福祉振興基金事業を承認される

12月22日(水)に県総合福祉センターで、平成22年度熊本県社会福祉振興基金運営委員会を開催し、平成23年度事業計画等について審議を行い、次の8事業が承認されました。

1	県社協総合情報誌の発行	5	各種大会開催への助成
2	地域福祉活動計画策定推進事業	6	小規模 体活動支援事業
3	安心生活支援活動推進事業	7	ボランティア活動促進事業
4	民間福祉団体活動推進事業	8	「ボランティア活動日本一」推進事業

平成23年度は、22年度から実施している「安心生活支援活動推進事業」については、地域の中で様々な生活課題を抱える人々が孤立することを防止する仕組みを構築し安心した生活が送れるように、市町村社協が開発や実施する住民参加型の生活支援サービスに加え、法人後見の受任、権利擁護センターや成年後見センター等の設置に対しても助成を行います。また、「ボランティア活動促進事業」については、市町村社協または市町村ボランティア連絡協議会が実施する市町村災害ボランティアセンター設置訓練事業、市町村ボランティアフェスティバル開催事業、ボランティア養成講座の実施事業、市町村ボランティア連絡協議会活動強化事業への助成を行うよう見直し、本県におけるボランティア活動のなお一層の促進を図ります。

介護支援専門員実務研修が始まりました

今年度の介護支援専門員実務研修受講試験の合格者482名を対象とする「実務研修」が、1月13日(木)からKKRホテル熊本で始まりました。国で定められたカリキュラムを1月～3月の期間で7日間受講することになります。前期(3日間)では、介護保険制度の理念やケアマネジメントの基礎技術、主治医との連絡・連携のとり方並びに居宅サービス計画書等の作成演習を、後期(4日間)では、多職種連携の演習や権利擁護、介護予防に関する知識等を学んでいきます。

また、前期と後期の間に、受講者が各自で実習協力者を選定し、実際にその方の居宅サービス計画書を作成する実習も行います。

研修修了後、県に登録申請を行い、登録後に初めて介護支援専門員として実働することができます。



【実務研修の様子】

仕事人間から地域人へ！「自分の第一歩計画」を作成 ～ セカンドライフ応援セミナー ～

1月31日(月)、くまもと県民交流館パレアで、団塊世代の方、定年後の生活を考えている方、地域活動やボランティア活動に興味のある方など約40名の参加を得て「セカンドライフ応援セミナー」を開催しました。

講演では、広島文教女子大学の蛭江紀雄教授が、「仕事人間から地域人へ」と題して、ご自身が副代表を務める男性ボランティアのグループ「はつかいち壮年チーム」の設立の経緯と活動を紹介されました。

また、「男性の老年期においては、他人(ひと)のためではなく、自分のための地域活動を見出すことが大事。」と話され、「面白いところに人は集まり、面白いことは続けられる。」と結ばれ、参加者の今後の地域活動への積極的な参加と継続にエールが送られました。

続いて、ひとちいき計画ネットワークの佐伯謙介代表により、セカンドライフのステージに新しい一歩をふみだすためのワークショップが行われ、参加者それぞれで、これからどんなことがしたいのかを整理し、その活動への不安や悩みをグループで相互にアドバイスしながら、最後には全員が「自分の第一歩計画」を作成して終了しました。



【講師の蛭江教授】

ネットワーク活動支援員養成講座を18名が修了



【災害時要援護者支援について
講義するRSY・栗田暢之氏】

10月13日から5日間にわたって行われたネットワーク活動支援員養成講座が、12月13日の講座をもって終了し、18名の社協・行政コミュニティワーカーが修了しました。

10月13日には、熊本学園大学の高林秀明 准教授から「地域福祉の現状と基礎的な理解について」、10月14日にはひとちいきネットワークの佐伯謙介 代表から「課題の発見と共有の手法について」熊本交通センターで学びました。

11月19日からは、熊本県総合福祉センターに会場を変え、熊本学園大学の和田要 教授から「小地域ネットワークの展開方法について」学び、阿蘇市社協や佐賀県太良町社協が



【熱心に演習に
取り組む参加者】

ら実践発表が行われました。

12月6日には、レスキューストックヤードの栗田暢之 代表理事から「災害時要援護者の支援について」、また、最終日の12月13日には、日本社会事業大学の菱沼幹男 助教授から「コミュニティワークについて」をテーマに、それぞれ講義を受け、地域でネットワーク活動を実践するための知識を深めました。

天草・福祉のお仕事就職面接会2011を開催

平成23年1月28日(金)、天草市民センター(天草市)で「天草・福祉のお仕事就職面接会2011」を開催しました。

福祉・介護人材マッチング支援事業の一環として、今年度は人吉市、阿蘇市に続き第3回目の面接会開催でしたが、天草市、天草市社協、ハローワーク天草のご協力により、求職者23名、求人14事業所の参加がありました。

会場内では、求職者が積極的に各事業所ブースを訪れ、面接に挑戦する様子が見られました。

今後は、2月21日(月)13:30~16:00、興南会館(熊本市)で、「くまもと福祉ワークフェア2011」を開催する予定です。

参加事業所はハローワーク熊本までお申し込みください。参加者の申し込みは不要ですので、直接会場へお越しください。



【相談ブースの様子】

各課トピックス

* お問合せは、県社協各課まで

総務課	県民福祉課
<p>TEL 096-324-5454 / FAX 096-355-5440</p> <p>◆九州各県・指定都市社協事務局長会議(後期)◆ 日時 平成23年2月21日(月) 13時～14時40分 会場 熊本交通センターホテル 6階 朝顔 内容 (1)社協の経営課題と対応について (2)平成23年度以降の重点施策について ほか</p> <p>◆九州社会福祉協議会連合会理事会◆ 日時 平成23年2月21日(月) 15時～17時 会場 熊本交通センターホテル 6階 椿 内容 (1)平成22年度事業報告(中間報告)について (2)平成22年度収支決算(見込み)について (3)全社協福祉ビジョン2011内容説明 全社協 事務局次長 渋谷篤男 氏</p>	<p>TEL 096-324-5470 / FAX 096-355-5440</p> <p>◆市町村社協経営基盤強化研究会議◆ 日時 平成23年2月16日 10時30分～15時45分 会場 熊本交通センターホテル 6階 菊の間 内容 講義「社会福祉を取り巻く環境と地域包括ケア」 ルーテル学院大学 教授 和田敏明 氏 実践レポート 「社協における地域包括支援センターの展開について」 天草市社会福祉協議会 「安心生活創造事業の展開について」 人吉市社会福祉協議会 コーディネーター ルーテル学院大学 教授 和田敏明 氏</p>
施設福祉課	民生課
<p>TEL 096-324-5462 / FAX 096-355-5440</p> <p>◆福祉経営相談室をご活用ください◆ 社会福祉法人や社会福祉施設を運営する中で様々な課題や問題が起こることがあります。これらの案件に対して、専門相談員(社会保険労務士・公認会計士・弁護士)が月1回の定例日に専門家の立場から適切な助言をいたします。</p> <p>◆福祉・介護施設等アドバイザー派遣事業◆ 弁護士・公認会計士・社会保険労務士・中小企業診断士をアドバイザーとして事業所に派遣し、要望に応じ、会計や経営管理等専門的な指導・助言を行います。 ※秘密は厳守し、ご利用は無料です。事前に予約が必要となります。</p>	<p>TEL 096-324-5475 / FAX 096-355-5440</p> <p>◆教育支援資金受付のご案内◆ 来年度に入学を予定されている方の、月々の学費等の修学に必要な費用については、教育支援資金の教育支援費を次のとおり取り扱います。 受付開始 2月1日(本会受付)から 要件 本資金申込みと併せて、日本学生支援機構等奨学金を申請すること。 その他 入学後も申込可能です。その場合、市町村社協受付月分からの申込みとなります。 ※就学支度費の受付は、3月15日本会到着分までです。</p>
福祉人材・研修センター	地域福祉権利擁護センター
<p>TEL 096-322-8077 / FAX 096-324-5464</p> <p>◆介護支援専門員実務研修実習への協力について◆ 標記研修の前期課程が1月末をもって修了し、その後、受講者が各地域で居宅サービス計画書等作成の実習に取り組みます。 実習では、在宅の要介護の方にご協力をいただき、実際にサービス計画書等を作成します。 各事業所におかれましては、受講者が実習協力者の紹介等の相談に訪問した際、ご協力をいただきますようお願いいたします。</p>	<p>TEL 096-324-5474 / FAX 096-355-5440</p> <p>◆契約締結審査会の開催について◆ 毎月第3火曜日に、保健、医療、福祉、法律等の専門家6名の委員から構成されている契約締結審査会を開催しています。 利用希望者及び利用者の判断能力の疑義や契約内容による援助を続けることが難しくなった場合、あるいは利用者の意思確認ができないため、支援計画に基づく適切な支援ができない場合等の審査等を行います。また、困難事例についての検討も行います。 審査等が必要な場合には、本会までご連絡ください。</p>
ボランティアセンター	福祉サービス評価センター
<p>TEL 096-324-5436 / FAX 096-324-5427</p> <p>◆ビデオライブラリーのご案内◆ 県ボランティアセンターでは、ボランティア活動や福祉教育、高齢者福祉等に関するビデオやDVDの無料貸し出しを行っています。 タイトルや内容については、県ボランティアセンターのホームページで検索できます。 どなたでもご利用できます。地域での研修や各事業所での職場内研修などにご活用ください。</p>	<p>TEL 096-324-5473 / FAX 096-324-5456</p> <p>◆公表センターホームページをご活用ください◆ 当評価センターでは、県指定の「介護サービス情報公表センター」の運営を行っています。県内の約2,500ヵ所の介護保険サービス事業所の運営方針やサービスの提供状況など、調査機関が実施した調査結果や新規事業所の情報をホームページに公表しています。地域、種別ごとの検索や事業所の比較等も可能です。介護サービスに関する情報収集にご活用ください。</p>
<p>熊本県ボランティアセンター 検索 </p>	<p>熊本県公表センター 検索 </p>